被ばく低減対策好事例集

場所		分類		
原子炉建屋内	RB	TB	5	1 時間
タービン建屋内	(TB)			2 距離
R ZONE	R			3 遮へい
Y ZONE	Y			4 線源の除去
G ZONE	G			(5) 遠隔、ﾛﾎﾞｯﾄ化
その他（　　）	Z			6 汚染拡大防止
				7 その他

番号	30－01－03

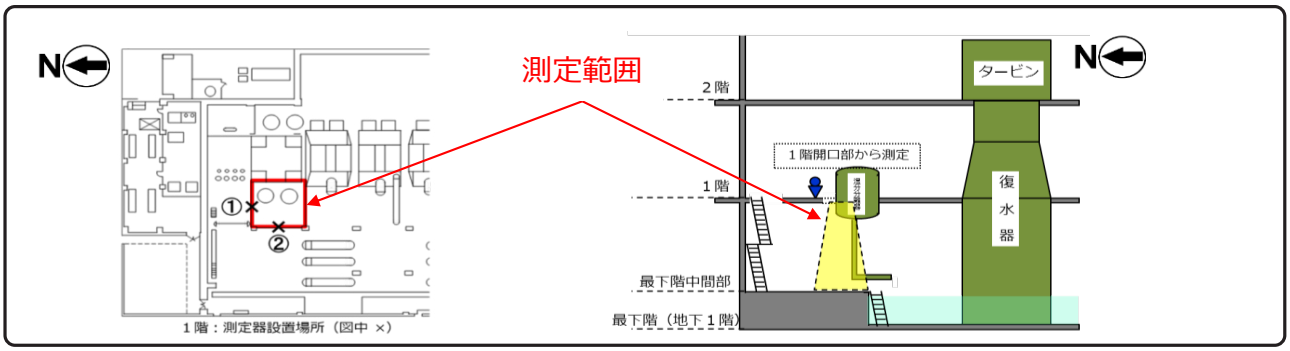
内容	正確な被ばく線量算出を目的とした放射線管理情報収集方法
作業場所	2号機　タービン建屋
概略	被ばく低減対策を含む工事計画策定や除染などの工事成果を正しく評価するための放射線管理情報収集とその活用

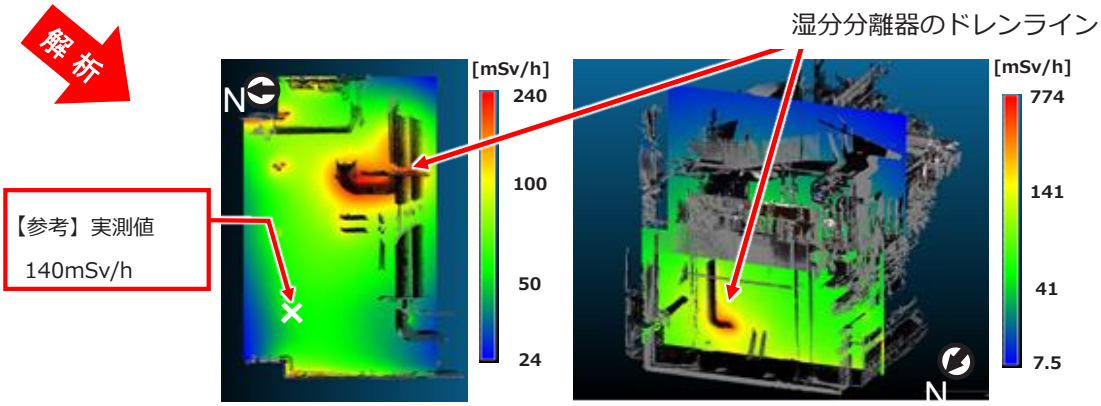
評価（(定性)・定量）	効果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前　被ばく予測をするにあたり、点情報(2次元)を用いて計画策定を行っていた。

対策内容　より正確な情報収集として、線源位置の特定や3次元情報などの活用が可能となってきた。





線量率の平面分布[床から1m高さ]　　線量率の垂直分布

地下階の空間線量は、湿分分離機のドレンラインが一番高く

その他にも一部の機器・配管等が主な線源

編集：株式会社日本環境調査研究所